

(12) 非常勤講師等

① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

授業科目名	担当時間数
学習臨床学特論	12
いのち教育論	20
道徳教育特論	30
学校モラルトレーニング演習	30
心理教育的アセスメント演習	30
心身医学特論	30
投映法特論	30
学校カウンセリング演習	30
漢文学特論	30
国語科教育特論A	30
人文地理学特論	30
数学教育学特論B	30
地学教材研究	15
地球物質科学特論	30
理科野外観察指導実習A	15
理科野外観察指導実習G	15
指揮法研究	30
複合造形研究	30
住居学演習	30
金属加工学特論	30
校内の授業研究のシステム化と授業研究の方法	30
国際理解教育と外国語活動	30
特別支援教育論	30

イ 学校教育学部

授業科目名	担当時間数
スラブ文化事情	30
社会教育計画A	32
社会教育計画B	32
社会教育演習Ⅰ	30
社会教育演習Ⅱ	30
教育工学	30
総合・生活科指導法B	10
総合・生活科指導法B(免P)	10
情報科指導法(授業論)	30
生涯学習概論B	30
心理学概論	30
人権・同和教育	30
教育と法規	32
保育・表現の指導法	15
保育・健康の指導法	30
家庭の教育と育児	10
子どもの福祉	30
社会福祉Ⅰ	30
社会福祉Ⅱ	30
養護内容	30
保育者論	30
漢文学講読	30
中等国語科指導法(授業論)	30
コミュニケーション英語AⅠ (B1・B2クラス)	32
コミュニケーション英語AⅠ (D1・D2クラス)	32
コミュニケーション英語AⅡ (A1・A2クラス)	32
コミュニケーション英語AⅡ (A3・A4クラス)	32
コミュニケーション英語BⅠ (Cグループ)	32
コミュニケーション英語BⅡ (Cグループ)	32
コミュニケーション英語CⅠ (Bグループ)	32
コミュニケーション英語CⅠ (Dグループ)	32
コミュニケーション英語CⅡ (Aグループ)	32
コミュニケーション英語CⅡ (Cグループ)	32
英文学演習	30
比較文化	30
哲学概説	30
社会学概説	30
ヨーロッパ史認識論	32
地誌学概説	30
地域環境学	30
人文地理学概説	30
算数(免P)	32
地学	14
地学実験	28
音楽	46
独唱Ⅲ	30
合奏B	30
美術史論	30
図画工作科指導法AB	14
図画工作科指導法CD	14
工芸表現(木工)	30
造形表示A	15
造形表示B	15
総合造形表現	15
金属加工法	30
家族関係Ⅰ	15
家族関係Ⅱ	15
生活経営Ⅰ(家庭経済学を含む。)	15
生活経営Ⅱ	15
被服学	15
調理の理論と実習	45
食科学B	30
住居学(製図を含む。)	10

② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。）

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
人間教育学セミナー (教職の意義)	教育実践の視点からの教職の意義	4
教育課程論A (総合的学習を含む)	総合的な学習の時間を指導する際、教員志望者に求められる、必要不可欠な知識・技能の基礎的な研究、研究方法を、豊富な事例をもとに習得する。 ・学力評価の実際を分析する ・総合的な学習の時間の評価・カリキュラム開発する際（総合的な学習を含む）、教員志望者に求められる、必要不可欠な知識・技能、方法を習得する。	8
総合・生活科指導法A	生活科及び総合的な学習について、教育実習に必要な知識・技能を提供する。	8
総合・生活科指導法B	総合・生活科指導法の実践的指導力の基礎の質的充実のため。 ・主に上越地域全体の取組・防災・減災・キャリア教育について。 ・主に上越教育大学附属小学校の総合単元的な活動について。 ・主に上越教育大学附属中学校の持続発展科の講義。	8
学習場面観察基礎	子どもの学びの場面に実際に臨みながら、その成り立ちと過程を観察し、子どもの学びの論理をとらえるための基礎的な実習を行なう。	2
学習場面臨床学	子どもの学びの成り立ち・過程と、そこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。	4
特別支援教育基礎 (介護等体験の指導内容を含む)	特別支援教育の理念と実際についての基礎的事項及び介護等体験の理念と体験を実施する特別支援学校や社会福祉サービスの現状について理解を深める。	6
障害児保育	様々な障害について理解するとともに、障害のある幼児の保育の実際、保護者への支援等、障害児保育に関する基礎的な知識を得る。	10
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	8
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際 算数的活動を中心に据えた算数指導の評価の実際	8
教科指導法	問題解決の立場に立つ数学の授業構成と展開の実際 「数学的活動」を中心に据えた数学の指導と評価の実際	6
数学学習過程論	数学的内容に対する生徒の理解を促す活動や課題の検討	8
中等英語科指導法（授業論）	中学校の英語科授業における授業計画の立て方や評価について実践的な立場から学ぶ。	6
初等音楽科指導法	生活科と音楽科との関連を図った実践事例について。動物の飼育に音楽と関連付けた活動が子どもの心情に与えた効果について 学校行事（特別活動）で音楽科の教員が、ステージをどのようにプロデュースするか企画立案について	8
中等音楽科指導法（実践応用論）	中等音楽科指導法について主として実践力の向上をめざす 学校教育現場における中学校音楽科の授業の実際	4
図画工作科指導法	図画工作科の教科とその指導方法について、実践的立場から演習を行う。	18
初等体育科指導法	現場実践を踏まえた授業補助	12
初等家庭科指導法	教育現場における小学校家庭科の指導について教授すると共に、教育現場管理職の視点から家庭科指導法への提言を行う。 教育現場におけるいのち教育の実践について指導助言をおこなう。	16
中等家庭科指導法（教材論）	中学校家庭科の教育現場における教材について、紹介、指導、助言を行う。	2

イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
総合・生活A	生活科・総合的な学習の実際について、基礎的な知識を提供する。	2
総合・生活B	生活科・総合的な学習の時間を指導する際、教員に求められる、必要不可欠な知識・技能の基礎的な研究、研究方法を習得する。 生活科・総合的な学習の時間を指導する際、教員志望者に求められる、必要不可欠な知識・技能の基礎的な研究、研究方法を、豊富な事例をもとに習得する。	16
家庭の教育と育児	乳幼児の教育・保育について実践的な理解を深める。特に3歳未満児の教育・保育を対象とする。	8
実践セミナー「家庭」	中学校家庭科の教育現場における授業について、紹介、指導、助言を行う。 小学校家庭科の教育現場における授業について、紹介、指導、助言を行う。	6

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
保育実習指導Ⅰ	保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。	4
保育実習指導Ⅱ	知的障害者施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。 児童養護施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。	4
保育実習指導Ⅲ	保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。	8
保育実習指導Ⅳ	療育施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。	2
介護等体験（社会福祉施設）事前指導（学部・免P）	教員免許状を取得するには、介護体験を行わなければならない。1年次に特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を実施する。	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けての授業の質的充実のため	122

③ ティーチングアシスタント

修士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
体験学習・共通	五百川 他	通年	不定期	10 時間
体験学習・C	五百川 他	通年	不定期	20 時間
体験学習・E	東原 他	通年	不定期	20 時間
体験学習・F	伊藤将 他	通年	不定期	20 時間
体験学習・G	榊原	前期	不定期	20 時間
体験学習・J	平野 他	通年	不定期	15 時間
プログラミング教育基礎演習	大森 他	前期	集中	27 時間
教養スポーツA	松浦 他	前期	水 2	30 時間
教養スポーツB	松浦 他	前期	水 2	30 時間
教養スポーツC	榊原 他	前期	木 2	30 時間
教養スポーツD	榊原 他	前期	木 2	30 時間
ウォータースポーツ	松浦	前期	集中	30 時間
ボールゲーム	榊原, 土田	通年	前期集中 後期金 2	24 時間
中国語・中国事情	黎	前期	月 3	30 時間
表現・相互行為教育演習	松本健義 他	前期	火 1	30 時間
音楽	長谷川 他	通年	木 3	80 時間
図画工作A	洞谷 他	前期	金 3	30 時間
図画工作B	洞谷 他	前期	木 1	30 時間
図画工作C	洞谷 他	前期	火 3	30 時間
図画工作D	洞谷 他	前期	木 4	30 時間
体育	竹野 他	前期	火 4	85 時間
算数科指導法A B	宮川, 布川	前期	木 2	15 時間
算数科指導法C D	宮川, 布川	前期	火 2	15 時間
初等音楽科指導法A B	時得, 尾崎	前期	月 2	30 時間
初等音楽科指導法C D	時得, 尾崎	前期	木 2	30 時間
図画工作科指導法A B	阿部靖 他	前期	火 3	16 時間
図画工作科指導法C D	阿部靖 他	前期	木 1	16 時間
初等体育科指導法A	周東 他	前期	月 1	30 時間
初等体育科指導法D	周東 他	前期	水 1	30 時間
初等家庭科指導法	得丸, 佐藤ゆ	前期	火 1	15 時間
保育学実習	吉澤	通年	集中	30 時間
栽培法	山崎	前期	木 3	30 時間
身体表現の基礎	榊原, 大橋	前期	金 2	30 時間
造形基礎A C	安部 他	前期	月 5	30 時間
指揮法	長谷川	前期	木 5	30 時間
書写書道II	押木	前期	月 3	30 時間
地理学野外実験	山縣 他	前期	集中	28 時間
造形基礎B D	高石 他	前期	月 4	30 時間
電気工学実験実習	川崎	前期	木 4	30 時間
工芸表現B	高石	前期	木 4	30 時間
地学実験	濤崎	前期	月4.5	30 時間
日本画表現	洞谷	前期	火 4	7 時間
生活の中の科学	東原	後期	金 5	15 時間

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
生活の中の科学	黎	後期	金 5	15 時間
スノースポーツ	市川 他	後期	集中	30 時間
保育・表現の指導法	阿部靖	後期	金 2	15 時間
教育情報演習 A	井上	後期	火 2	30 時間
教育情報演習 B	大森	後期	金 3	30 時間
教育情報演習 C	高野	後期	月 3	30 時間
教育情報演習 D	石川	後期	木 2	30 時間
表現・状況的教育方法演習 A B	高石, 林田	後期	月 5	30 時間
表現・状況的教育方法演習 C D	城間, 白岩	後期	月 5	30 時間
野外運動 (スノースポーツ)	市川 他	後期	集中	30 時間
木材機械加工法	東原	後期	月 4	30 時間
被服製作の理論と実習	佐藤悦	後期	火 3. 4. 5	30 時間
生物学実験	谷, 小川	後期	木 4. 5	30 時間
計算機数学演習	林田, 宮川	後期	木 4	30 時間
カウンセリング基礎演習	山本	後期	水 2	30 時間
心理学実験	森口 他	後期	木 3. 4	30 時間
書写書道 I	押木	後期	月 2	30 時間
物理学実験	定本, 小川佳	後期	月 3. 4	30 時間
機械工学実習	黎	後期	木 4	30 時間
体操・器械運動	周東	後期	木 3	24 時間
伝統絵画表現と鑑賞	洞谷, 伊藤将	後期	火 5	30 時間
デザインワーク I	安部	後期	木 3	30 時間
油彩画表現	伊藤将	後期	火 4	30 時間
彫刻表現 I	松尾	後期	木 5	24 時間

博士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
発達障害教育臨床実習	大庭重治 他	通年	不定期	80 時間
発達障害応用教育臨床実習	大庭重治 他	通年	不定期	88 時間
特別支援教育研究法演習	大庭 重治	通年	不定期	10 時間
機械工学実験実習	黎 子椰	後期	月 5	26 時間
学習臨床学特論	松本健義 他	前期	木 4	15 時間
意味生成表現と教材開発	松本健義 他	前期	月 5	15 時間
学習場面臨床学特論	松本 健義	前期	月 2	15 時間
造形表現学習過程特論	松本 健義	後期	火 2	10 時間
電気技術実験実習	川崎 直哉	後期	火 2	24 時間
応用情報システム工学演習	大森 康正	後期	木 3	18 時間
特別支援教育研究法演習	我妻 敏博	通年	不定期	30 時間

④ ティーチング・サポーター

修士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
国語（書写を含む。）	押木	前期	金1 一部集中	30 時間
社会	浅倉 他	前期	火5	30 時間
音楽	平野俊 他	通年	月6	12 時間
図画工作	洞谷 他	前期	木6	60 時間
体育	松浦 他	通年	前期 集中	44 時間
家庭	佐藤悦 他	前期	月2	30 時間
初等特別活動論	高橋知	前期	木2	30 時間
中等特別活動論	高橋知	前期	金1	30 時間
初等理科指導法	小林辰, 稲田	前期	火6	30 時間
総合・生活科指導法B	釜田 他	前期	水6	20 時間
初等音楽科指導法	時得, 尾崎	前期	火2	30 時間
初等体育科指導法B	周東 他	前期	月1	30 時間
初等体育科指導法C	周東 他	前期	水1	30 時間
初等家庭科指導法	得丸, 佐藤ゆ	前期	木6	30 時間
理科	小川 他	後期	月2	30 時間
初等道德教育論	林	後期	木1	30 時間
中等道德教育論	林	後期	火1	30 時間
算数科指導法	高橋等, 伊達	後期	水6	30 時間
図画工作科指導法	阿部靖, 五十嵐史	後期	木6	30 時間
初等生徒指導論	安藤, 稲垣	後期	月1	15 時間
中等生徒指導論	安藤, 稲垣	後期	月1	15 時間
教育相談・カウンセリング論	宮下 他	後期	木2	30 時間
初等キャリア教育論	山田	後期	月1	15 時間
中等進路指導・キャリア教育論	山田	後期	月1	15 時間
日本国憲法	小島	後期	水1	30 時間

⑤ リサーチ・アシスタント

任 用 期 間	研究補助業務担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト代表者
平成27年6月1日 ～平成28年3月31日	200時間	造形行為を媒介とした学習活動の創発と総合における汎用的コンピューテンシーに関する研究	芸術系教育連合講座	松本 健義 教授
平成27年6月1日 ～平成28年3月31日	200時間	先端技術の教材化と標準モデルの開発・評価	生活・健康系教育連合講座	川崎 直哉 教授